



2012-13

週報



パワー浜松ロータリークラブ事務局  
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2  
オークラアクティホテル浜松4307号室  
Tel/Fax 053-452-0800

Email info@power-hamamatsurc.jp  
http://www.power-hamamatsurc.jp  
立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日  
認証伝達式/2003年4月29日  
スポンサークラブ/浜松中RC



RIテーマ「奉仕を通じて平和を」会長/田中作次(八潮RC)  
2620地区のテーマ「クラブは自ら活性し、お互いのつながりを実感しながらロータリーを伸展させよう」  
ガバナー/高野孫左工門(甲府RC)  
パワー浜松RCのテーマ「固く結ぼう心の絆、分かち合おう総ての仲間と」会長/小澤邦比呂

第476回例会【静岡第7分区IM】2月27日(水)PM6:00~8:30グランドホテル浜松

- 式典: 鳳東の間(18:00~18:25)
- 講演会: 鳳東の間(18:30~19:25)
- 懇親会: 鳳東の間(19:30~20:30)

出席  
報告

89名中58名65.17%  
前々回修正出席率68.54%

＜ 式典 ＞

- 点鐘
- 開会の言葉
- 国歌及び「奉仕の理想」斉唱
- 歓迎の挨拶
- 来賓紹介
- 参加クラブの紹介
- IMリーダー挨拶
- ガバナー挨拶
- 次期ガバナー補佐紹介
- 次期ガバナー補佐挨拶
- 点鐘

- 第7区分ガバナー補佐
- IM実行委員長
- ソングリーダー
- ホストクラブ会長
- 第7区分ガバナー補佐
- ホストクラブ幹事
- 第7区分ガバナー補佐
- 第2620地区ガバナー
- 第7区分ガバナー補佐
- パワー浜松RC
- 第7区分ガバナー補佐

- 安間 みち子
- 宇部 晴美
- 高部 千奈美
- 阿部 秀雄
- 安間 みち子
- 池谷 貴志子
- 安間 みち子
- 高野 孫左工門
- 安間 みち子
- 原田 道子
- 安間 みち子

ガバナー補佐挨拶・安間 みち子

静岡第7区分の皆様、そして御来賓の皆様、本日はようこそ静岡第7区分のインターシティミーティングにお越しくだしました心より歓迎申し上げます。IMは年に1度、第7区分8つのRCが一堂に介してロータリーの友情を深める日でもあります。浜松RCは1951年から3年間、日本全国のRCのなかで出席率ナンバーワンを獲得しています。当時はRCの数も少なくメーキャップのために静岡あるいは名古屋まで行かなければならなかった、という話を中野PGから伺いました。そのような時代の平均出席率96.4%です。私はこの数字に当時のロータリアンの出席にかかる強い意志を感じます。本日は、溝口紀子先生をお迎えしての講演会、そして懇親会と続きます。どうぞロータリーの友情を深め、ハーモニーRC主催のIMを最後まで お楽しみ下さい。

ホストクラブ会長挨拶・阿部 秀雄

ロータリアンの皆様今晚は、本日、IMを担当します浜松ハーモニーロータリークラブ会長、阿部秀雄です。私たちのクラブも次年度創立15周年を迎えます。36名のチャーターメンバーで創立され、現在、純増1名の37名です。本日は、浜松ハーモニーロータリークラブ全員で、誠心誠意務めさせていただきます。よろしくお願ひします。





2012-13

第476回例会  
2月27日(水)  
議事事項



パワー浜松ロータリークラブ事務局  
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2  
オークラアクティホテル浜松4307号室  
Tel/Fax 053-452-0800  
Email info@power-hamamatsuro.jp  
http://www.power-hamamatsuro.jp  
創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日  
認証伝達式/2003年4月29日  
スポンサークラブ/浜松中RC



講演 「スポーツと文化」 静岡文化芸術大学准教授 溝口 紀子

「柔道五輪代表暴力問題」の本質がどこにあるのか？昨年末、ロンドン五輪に出場した日本代表を含む女子選手15人が強化合宿などで監督やコーチによる暴力行為やパワーハラスメントがあったと、JOCに告発しました。これから彼女たちの事情聴取がはじまります。今回の騒動で興味深かったのが、柔道界では常識と思われていた事が、一般社会では通用せず関係者がショックを受けていたことです。一般社会と柔道関係者の認識の乖離がひどいことに気付いたようで、それを知っただけでも良かったと思います。おそらく他の競技団体に比べて、柔道界はトップダウンがすぎて、階層的組織でヒエラルギーの上層部が厚く、選手が声を出せなくなっている。今回の件で、私の言動が目立っているように見えることからわかるように、誰も発言しないから目立ってしまうんです。男性柔道家は何も言わないことから察するように、柔道界には言論の自由がないんです。10年以上前の事、私はフランス代表チームにコーチとして派遣されました。フランスでの経験はコミュニケーションひとつとっても、自分自身を客観視する機会となりました。フランス人に「こうじゃないか！」とコーチングすると彼女たちは「ノン！」と言いつつ返すことがある。ノンと言った後、「私はこう思うからこうしたい」ときちんと主張するんです。そこで、「今、必要な事はこれではない!」、と目的と効果、その後の調整をしてあげれば納得してくれる。言葉を使って、相互理解する事でトレーニング効果を高めていきました。コーチに求められるのは相互理解なんです。その為のコミュニケーションツールとして、何が必要なのか。「昔からこだったからこうしろ」では、通用しませんし、それでは人は伸びません。大学で教えている学生たちとのコミュニケーション方法にしても、今はツイッターやフェイスブックでなく、LINEで連絡を取るようになればならない。柔道の指導も世代によってコーチングは変えていくべき。マーケットが変わって適応するのも指導者に求められるスキルだし、務めだと考えます。



懇親会

- |         |              |        |
|---------|--------------|--------|
| 開会の挨拶   | ホストクラブ会長     | 鈴木 利幸  |
| 乾杯      | パストガバナー      | 中野 哲男  |
| 中締め     | パストガバナー      | 中山 正邦  |
| 閉会の言葉   | ホストクラブ会長エレクト | 三ツ井 康雄 |
| 手に手つないで | ソングリーダー      | 高部 千奈美 |

